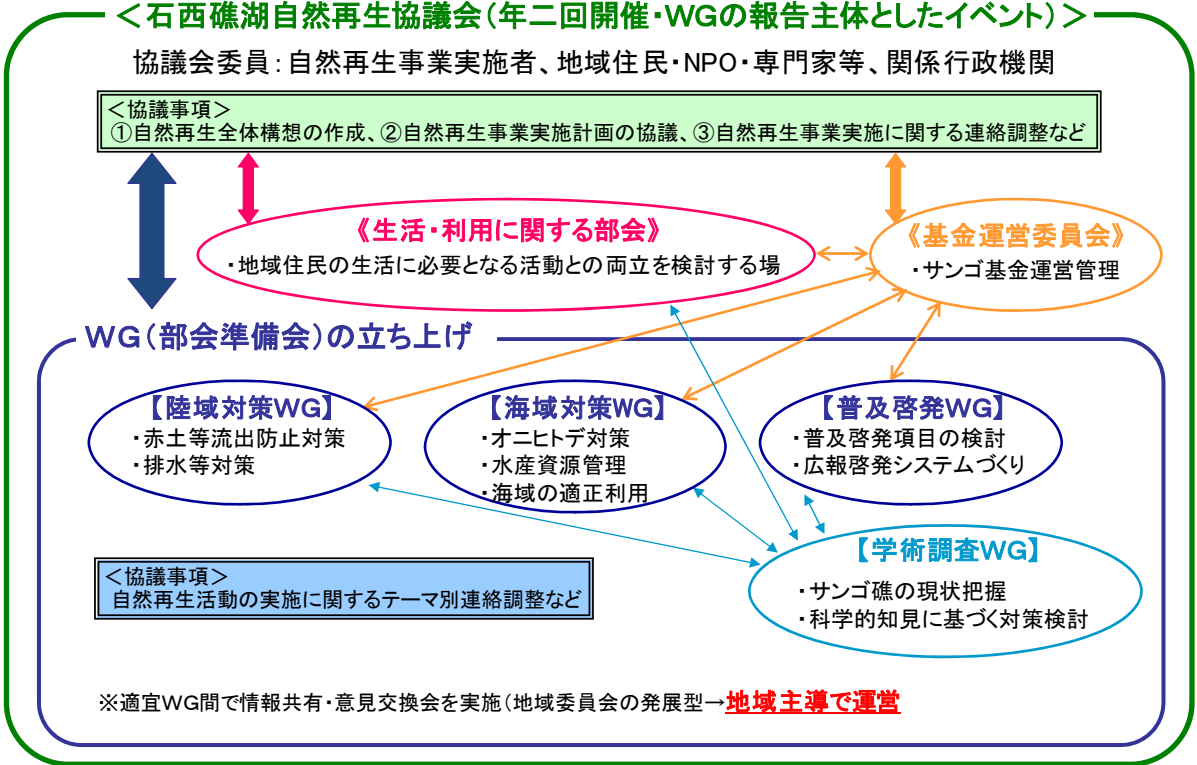


学術調査ワーキンググループ(WG)について

1. 協議会の体制と学術調査 WG の位置付け

- ・ 全体構想の短期目標を達成するため、協議会の体制をより実働性のあるものに強化。
- ・ 4つのワーキンググループ(WG)に分かれて検討を進めていくとともに、地域(八重山)主導の運営体制とした。
- ・ 学術調査WGは、各WGと相互に連携しつつ、サンゴ礁のモニタリングや科学的アプローチによる対策について、主に検討していく。



ワーキンググループ(WG)の事務局

WG名称	主な検討課題(例)	事務局
陸域対策WG	赤土等流出防止対策 排水等対策	石垣市環境課 環境省石垣自然保護官事務所
海域対策WG	オニヒトデ対策 水産資源管理 海域の適正利用	八重山漁業協同組合 石垣市農林水産部水産課 内閣府石垣港湾事務所 環境省石垣自然保護官事務所
普及啓発WG	普及啓発項目の検討 広報啓発システムづくり	環境省石垣自然保護官事務所
学術調査WG	サンゴ礁のモニタリング 科学的アプローチによる対策検討	環境省石垣自然保護官事務所 (石西礁湖自然再生事業支援専門委員会からの移行)

その他のグループの事務局

グループ名称	主な検討課題	事務局等
生活・利用に関する検討部会	自然再生と地域住民の生活の両立	内閣府石垣港湾事務所 竹富町企画財政課
石西礁湖サンゴ礁基金運営委員会	サンゴ基金の運営管理	基金事務局

2. 学術調査 WG の取組・検討事項

①サンゴ礁の現状把握

- ・ サンゴ礁のモニタリング
- ・ 全体構想の短期目標達成に向けた進捗把握・確認

②科学的知見に基づく対策検討

- ・ 協議会の重点取組海域の整理
- ・ サンゴ礁再生事業の技術検討
 - －サンゴ群集修復事業
 - －赤土対策事業
 - －オニヒトデ対策事業 等
- ・ その他（特に技術的検討が必要な事項）

③協議会の取組等に対する助言

- ・ 協議会全体（陸域対策 WG、海域対策 WG、普及啓発 WG、生活利用に関する部会、その他各委員の取組）の取組等に対する助言

④協議会への報告

- ・ 上記①～③を含めた本 WG での議論内容等の協議会への報告

※参考

石西礁湖自然再生全体構想の目標

長期目標：人と自然の健全な関わりを実現し、1972 年の国立公園指定当時の豊かなサンゴ礁の姿を取り戻す。

短期目標：サンゴ礁生態系の回復のきざしが見られるようにする。そのために環境負荷を積極的に低減する。

3. 学術調査ワーキンググループのメンバー

(敬称略)

氏名・機関	所属先・役職
土屋 誠*	琉球大学理学部海洋自然科学科 教授
岡地 賢*	有限会社コーラルクエスト 代表取締役
岡本 峰雄*	東京海洋大学海洋科学部海洋環境学科 教授
鹿熊 信一郎*	沖縄県水産改良普及センター 主幹
竹川 大介*	北九州市立大学文学部人間関係学科 教授
宮城 俊彦*	沖縄県衛生環境研究所 所長
灘岡 和夫*	東京工業大学大学院情報理工学研究科 教授
野島 哲*	九州大学理学部附属天草臨海実験所 准教授
木村 匡	(財) 自然環境研究センター
嶋倉 康夫	
名波 敦	(独) 水産総合研究センター西海区水産研究所石垣支所
藤原 秀一	いであ(株) 沖縄支社
鷺尾雅久	サンゴ礁基金事務局
(株) 沖縄総研	
鹿島建設(株) 沖縄営業所	

(裏に続く)

(敬称略)

氏名・機関	所属先・役職
コーラル・ネットワーク	
NPO 法人日本ウミガメ協議会付 属黒島研究所	
八重山漁業協同組合	海域対策ワーキンググループ事務局
八重山マリンレジャー事業協同 組合	
竹富町企画財政課	生活・利用に関する検討部会事務局
石垣市環境課	陸域対策ワーキンググループ事務局
石垣市農林水産部水産課	海域対策ワーキンググループ事務局
沖縄県環境生活部自然保護課	
内閣府石垣港湾事務所	海域対策ワーキンググループ事務局 生活・利用に関する検討部会事務局
文部科学省科学研究費補助金 (新学術領域研究) サンゴ礁学	
水産庁漁港漁場整備部整備課	
環境省那覇自然環境事務所	

* : 石西礁湖自然再生事業支援専門委員会からの移行メンバー

<事務局>

環境省石垣自然保護官事務所